

星城懇話会

第29号

2018.2 発行

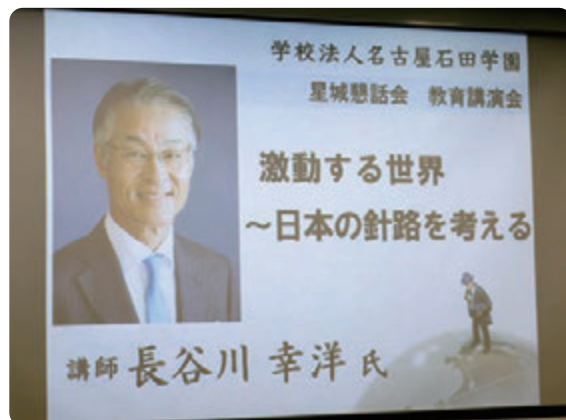
発行：星城懇話会事務局 〒476-8588 東海市富貴ノ台 2-172 TEL052-689-6002 / FAX052-689-6003

CONTENTS

》》教育講演会

》》会員交流会

》》細井平洲・上杉鷹山デモクラシー



教育講演会 開催

2月11日(日)、星城大学 名古屋丸の内キャンパスにおいて、「激動する世界～日本の針路を考える」と題して、東京新聞・中日新聞説説委員の、長谷川幸洋氏をお招きして星城懇話会教育講演会を開催いたしました。



当日は雨が降るかもしれないという天気予報に踊らされながら、嬉しくも晴天となり、多くの方にご参加いただきました。

最初に星城懇話会浦野廣高会長より「広いグローバルなテーマの為、いろんな視点でのお話を、後進の指導のなかで有益に生かしていきたい」とのお話があり、続いて星城懇話会石田正城名誉会長(名古屋石田学園理事長)から「大きな社会変化が起こっている中で、どのような方向で生徒・学生たちを指導していったらいいのか、今日の講演会を通じて考えたい」との挨拶の後、講演会が始まりました。

各メディアで広くご活躍されている長谷川幸洋氏の講演は、テレビでは聞けないところまで掘り下げた内容で、大変解りやすく、出席者全員が話に魅了されました。ご多忙中、たくさんの方に足を運んでいただき誠にありがとうございました。

激動する世界～日本の針路を考える

—— 一番大事なことを話します。それは今日の演題にあるんです。「激動する世界」が先にあって、それから「日本の針路を考える」のです。この順番がとても大事なんです。 ——



始めに、「激動する世界、日本の針路を考える、この順番が大事なんです。」と語られ、「この順番を逆にして日本のことから考える、そういった人がとても多いと思います。」「まず、自分が日本はこうあってもらいたい、こういう日本が私は好きだ、というイメージが先にあります。それがあって、そこから世界を眺めているんです。」そうではなくて、「先に世界、とりわけ東アジアがあって、東アジアが今日本に何を突きつけているのか、どういう条件を突きつけているのか、そこをまずしっかり見て、その中で日本がどういうふるまい、立ち位置にたったならば、日本が平和で繁栄を達成できるか、というふうに考えるんです。」と話されました。世界と日本の見方で、順番について深く考えることは少ないため、それが大きな問題だったとは驚きました。今後の日本を考えていくために、考えるきっかけとなりました。

その後も、今話題のオリンピック、現在の重要課題である外交問題、国民にとって関心の深い話題である憲法改正、現在の日本経済の状況、政治に関する根幹の問題など、テレビでは聞けない裏話などを織り交ぜて大変興味深い内容でわかりやすく話してくださいました。

出席者からも、「大満足」との声をたくさんいただき、大変好評の講演会となりました。



【前 赤岡星城大学長 石田理事長 長谷川幸洋氏 後 浦野会長 石田本部長】

参加者の声

- いろいろな世界から自分の国の仕組みがわかったのがよかった。
- 今後の日本の針路へのヒントをいただきました。
- 表面的な事実でなく、内面（裏面）の真実が分かり参考になった。

講談師「旭堂鱗林」講談会 演目「芸どころ名古屋」



平成29年12月11日(月)、名古屋ガーデンパレスにおいて、「平成29年度星城懇話会 会員交流会」を開催いたしました。

開会后、今年のイベントである講談師の「旭堂鱗林」さんの講談を聞きました。聞く機会があまりない講談というものに、会員の方々も興味津々でした。講談が始まりますと、リズムカルな口調で次々と語られる話に会場全体が一気に惹きつけられました。終始、笑いが絶えない講談会となり、大変盛り上がりしました。



会 員 交 流 会

講談会の終了後、交流会が始まりました。浦野会長、石田名誉会長の挨拶の後、谷口理事の乾杯でスタートしました。会員交流の時間では、名刺交換、異業種交流が盛んに行われ、おいしい料理とともに、皆さまの笑顔が飛び交っておりました。

その後、毎年恒例の「企業 PR」の時間となりました。今回も「近畿日本ツーリスト

株式会社」様、「株式会社 JTB中部」様、「株式会社名鉄グランドホテル」様、「株式会社ヤクルト東海」様など、お馴染みの方々が登壇され、皆様奮ってPRされました。

最後は、山田和正監事からご挨拶いただき、参加者一同となって「名古屋ナモ締め」で締めくくりました。約130名の会員様にご参加いただき、大変好評な会となりました。お忙しい中、多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。





日本地域資源開発経営学会中部部会

細井平洲・上杉鷹山 デモクラシー

2月24日(土)、星城大学4号館において、「細井平洲・上杉鷹山デモクラシー」と題して、日本地域資源開発経営学会の中部部会が開催されました。本学会は星城大学赤岡功学長が設立したもので、今回は星城大学の地元東海市の偉人「細井平洲」をテーマに研究報告会が行われました。

細井平洲(1728年～1801年)は、江戸時代の儒学者で、米沢藩主の上杉鷹山公の先生として、また尾張藩校明倫堂の初代校長としても有名です。

真(まこと)の心で語り掛ければ心は通じる、という平洲先生の教えは現代社会でも通じるもので、学ぶことが多くありました。その後も、平洲先生の教えが東海市の教育や市の発展につながった、ということが事例を交えて報告されました。

研究報告会の様子 ▶



報告会の後、参加者の方々は東海市民謡(踊)保存会の方々の踊りを鑑賞し、お茶と平洲先生にちなんだお菓子を頂きながら、平洲先生談義に花を咲かせました。

◀東海市民謡(踊)会の方による「平洲小唄・平洲賛歌踊り」

平洲先生にちなんだお菓子とお酒の紹介▶



新規会員登録募集

「星城懇話会」は、教育・文化・芸術分野において、地域社会と名古屋石田学園との相互交流を深めるとともに、地域社会の活性化に貢献することを目的とし、平成18年に発足いたしました。以来、地域社会とのコミュニケーション、会員の相互支援・相互協力を図る場として順調に活動を続けてまいりました。

昨今の経済状況の厳しい環境下におきましても、地域社会との連携により一層力を注ぎ、会員の皆様、会員企業の方々のご活躍及びご発展を目指して、少しでも皆様方に寄与できるように企画運営しております。ぜひ、ご興味がある方々にご紹介いただきますようよろしくお願いいたします。

【星城懇話会事務局】TEL:052-689-6002/FAX:052-689-6003